

特 244

131

昭和十四年八月

倉敷絹織株式会社倉敷工場

小學校兒童夏季實習實施概要

分所



0043157000

0043157-000

特 244-131

倉敷絹織株式会社倉敷工場小學校兒童夏季實習實施概要

倉敷職業紹介所

昭和 14

AHE

特 244

131

昭和十四年八月

倉敷絹織株式會社倉敷工場

小學校兒童夏季實習實施概要

倉敷職業紹介所

3
2

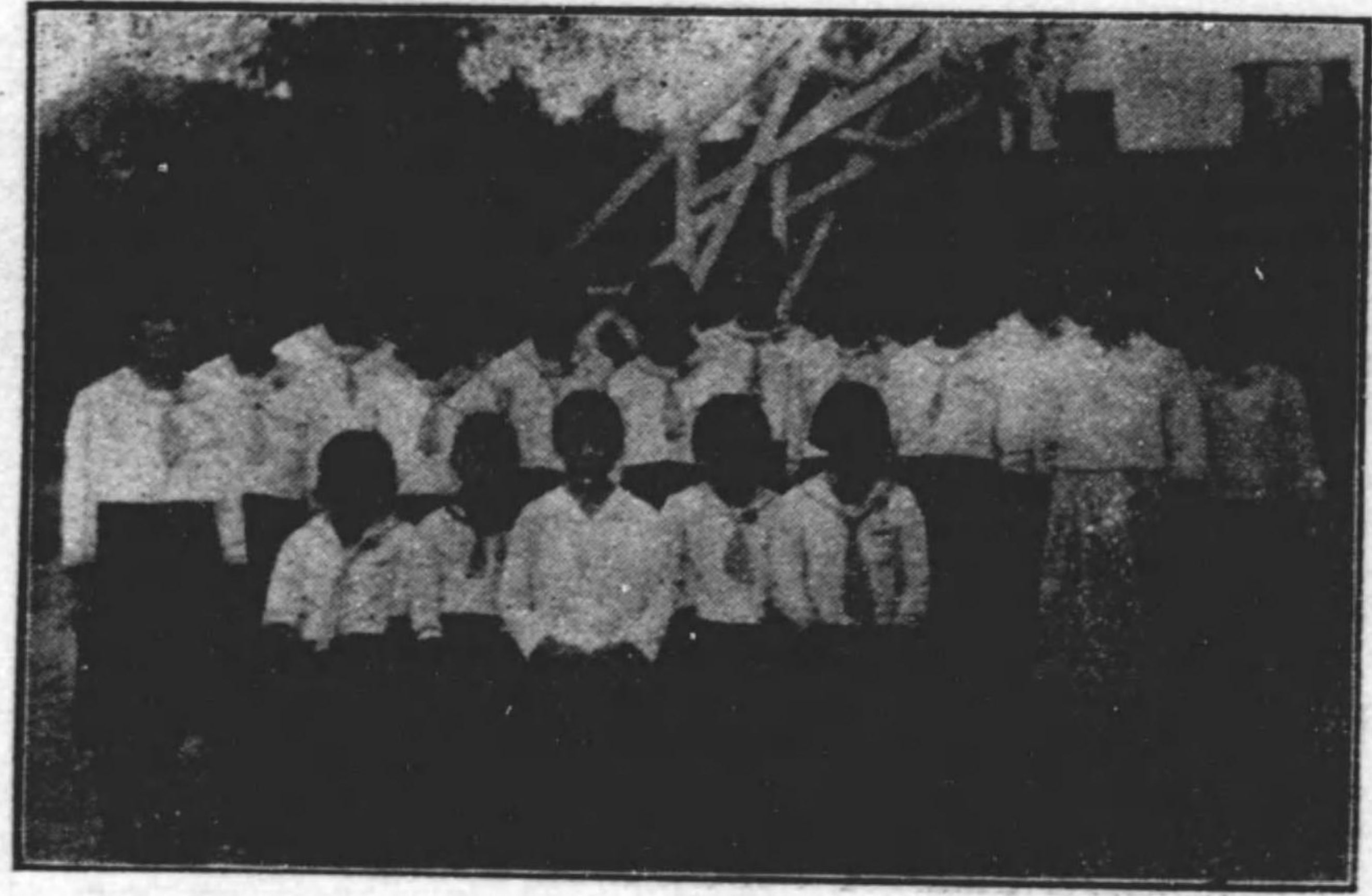
特244
131



目次

一	開所の目的	一
二	期間及び實習場	一
三	入所式	一
四	入所生徒	二
五	實習教育の段取	三
六	寄宿生活の指導	四
七	實習生活の状況	八
八	實習生から見た思出の様々	八
九	參觀者	九
一〇	終了式	一〇
一一	實習生指導日誌	一七





女子實習生

女子實習生

中庄小學校

全

倉敷高等小學校

全

全

全

全

全

全

全

全

全

全

角原俊惠

岸田弘子

木元秋子

白神年子

守安富貴子

藤原十四子

萩原君子

竹本節子

秋山綾子

大橋靜江

山本いせ乃

有木信子

青木常子

坂本保子

中島政惠

以上合計三十一名で何れも高等二學年の生徒である。

五、實習教育の段取

イ、生活指導

木村課長統率の下に男子部は主として永山、河合の兩職員が専ら指導の任に當り、女子部は福武、近藤の兩職員が其の任に當つた。男子は巨瀬の藤原君を除く外は全部通勤制で、朝のラヂオ体操から午後四時迄の工場生活である。女子は全部寄宿舎に收容して別に定むる規定によつて生活全部の面倒を見た。

ロ、實習指導

現場實習の狀況は後に詳記するが、男子は主として燃糸機の手入れで、平松、大橋兩氏の指導を受け、女子は撰別作業で森田、板谷、土倉の三氏の實地指導を受けたのである。

六、寄宿舎生活の狀況

女子の宿舎は松寮の二階ではち切れそうな希望に燃えた實習生達は簡単な手荷物を提げて玄關に集る。松寮の諸姉は新しく出來た十六名の妹達をいたはり迎へて疊の香新しい定めめの室に招じた。一落付するともう室の美化なごやりだす、きこまでも無邪氣である。實習生のものした感想文の節々に曰く……私はこの倉絹に來た時何も彼も新しく思はれて見るものすべてがめづらしかつた。中でも寄宿舎にゐるお姉さん達が、お花をいけたりなまつたり又大變よく氣がきくといふことです。私は家にゐる時分は寄宿舎といふ事をざつとそうぞうしてゐましたが、大へん私の考がちがつてゐた事が分りました。又、室に入ると整頓が行きと、いてほんとうに氣持がよろしい。こんなところに住めるかしらと思ひました、日が立つにつれて住むのがなれて來ました。……寄宿舎の人達が、大變やさしく又言葉づかひがよい

のにびつくりした。室は十六室です。整頓も清けつもとでも氣持が良い、御飯は麦がはいつて居てはじめは一せんしか食べられなかつたがなれていくらでも食べられるやうになつた。……………等々

次に寄宿舎での生活の基準は次の様な豫定で終始した。

○ 一日間の生活

午前 五・三〇—七・〇〇 起床、朝禮會、朝食
 七・〇〇—七・三〇 朝の祈り、掃除
 七・三〇—九・〇〇 自習
 九・〇〇—三・〇〇 現場實習
 一・三〇—一〇・三〇 晝食休憩
 三・〇〇—四・三〇 自由時間
 四・三〇—五・〇〇 入浴
 五・〇〇—七・〇〇 夕食、洗濯、掃除
 七・〇〇—九・〇〇 懇談、娛樂、納涼、家庭通信
 九・〇〇— 夕の祈り、就寢

(之は入所當時の豫定で漸次實習時間を増加して午前八時より午後四時迄行ふた。)



で 蘭 芝 の 舎 宿

○ 特設行事

七月三十一日(月) 入舎

八月一日(火) 入所式、家庭通信

八月二日(水) 歡迎茶話會	八月三日(木) 大麻奉戴式參列
八月四日(金) 納涼の夕	八月五日(土) 特別訓話、娛樂會、日記檢閱
八月六日(日) 見學	八月七日(月) 家庭通信
八月八日(火) 懇談茶話會	八月九日(水) 納涼の夕
八月十日(木) 神社參拜、特別訓話	八月十一日(金) 映講の夕
八月十二日(土) 感想發表茶話會、日記檢閱	八月十三日(日) 遠足、家庭通信
八月十四日(月) 納涼の夕	八月十五日(火) 特別訓話
八月十六日(水) 音樂の夕	八月十七日(木) 見學
八月十八日(金) 家庭通信	八月十九日(土) 送別茶話會、日記檢閱
八月二十日(日) 退所式	

こうした行事によつて實習体験を積みしめる傍ら生徒たる立場をも顧慮して適當な慰安と娛樂を與へ、特に諸行事をとほして精神陶冶に重きを置いて實施された事は實習生にとつて非常に幸福だつたと思ふ。

○ 八月七日

月曜日

A

生

……………(前略) 今夜は神様をお祭りする式があるので服を着かへてさつぱりした氣持で式場に行きました。前には姉さん達がきれいに並んでゐられ、正面にはみすが垂れて奥に神様をお祭りしてあると思へばひとり心に心が引締るやうでした。やがて嚴かに式が開かれて行く、工場長さんのあの時のお訓話をして下さつた時には、私達は此の尊い式に參列をゆるされた事を何といふ名譽なことであらうと思ひました。私はこの式によつて益々君に忠、親に孝の志を強くしました。今日の式は私達の生がいにとつていつまでも強く心に残ることです。

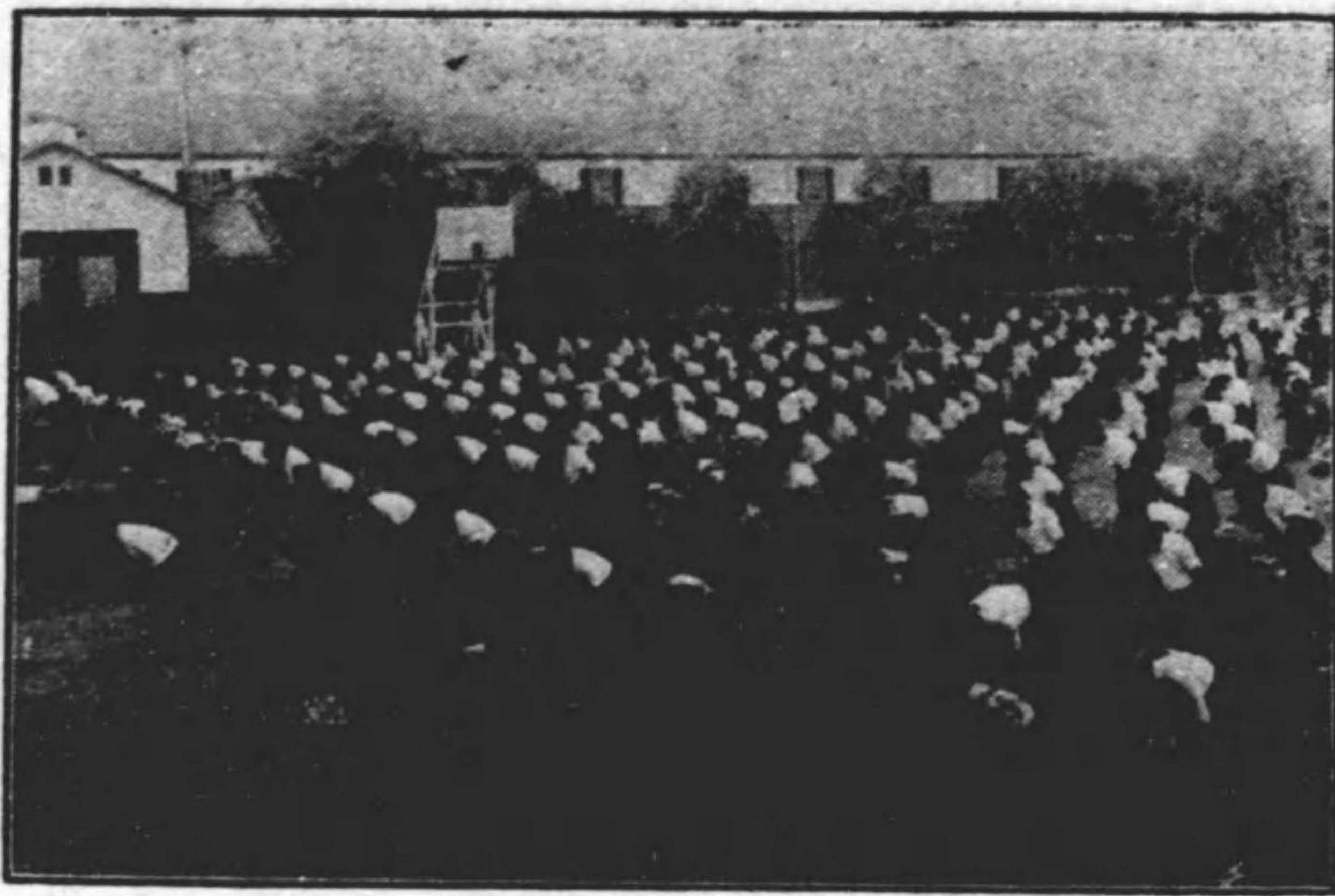
之は大庭を拜戴したときの感想である。

○ 八月九日

水曜日

A

生



朝禮會にて殿神に拜禮

朝禮會をすまして廣間で禮拜を終へてから「父母の恩」について福武先生がおつしやつた時、私はこちらへ来てほんとうに父母のありがたみが分つた。それを今朝は深く／＼ありがたひと思ひ、ぎんなにしてお返しをしようかと考へました。このお話を聞いてゐる内に涙が出て心から私は立ばな人にならうと決心しました。

工場に行くと今日は考査なので氣持が悪かつた。愈々午後になつて考査をする、おぼへてゐないのだから悪るいのにきまつてゐるがよい様に心に念じ乍ら書いた、やはりよく書けなかつた。室に歸つては人のうはさばかりして後から氣が付き修養せねばいけないと思つた。私は歸るまでには大分修養して少しでもよくなる様に努力しよう。夜は修身のお話だつた。このお話の如く努力し心を引きしめて修養しよう。

朝禮會は毎朝六時十分から寮庭で行ふ行事で先づ神殿に向つて拜禮御製の奉唱、寮訓の朗誦、体操で最も嚴肅に行ふ行事である。

作業の前に神室に集合して朝の祈り、神前訓話をするのが常である

○ 八月十二日

土曜日

K

生

今朝先生のお話によると私は大變あづるさうです。一昨夜は先生がねようと思つたら私が早や先生の床を占領してお



父兄宿泊の所前(女学生習生)

るさうです、すると先生は私をのけないですみつこの方によつてねたとおつしやつた。又昨夜は先生の腹の上に足をすけておつたさうですでも先生は何も言はずにしんぼうしておられたのでせう。今朝おことはりすると先生はい、えあづつて下さればうれいとおつしやつた。今迄すつと近藤先生の事を思つて來ました。初めからよと思つた通り果してよいお方です。……(略)……朝禮拜して室に歸つて寢ころぶやうな無作法や夜やかましい時やふろに入つてもやかましい時なき、何時も心をいためながらよいお話を聞かせて下さいます。私はちよつと反省して見ました、大話も少しはよくなつたし、夜も早くねむるやうになつたし、又先生のお話がよく／＼頭に入るやうになりました。こゝへ来て十三日をすごしました。たつた十三日にこれだけよくなつたのだから一年ぐらゐるたらさんな立派になれるだらうかと思ひました。

接觸教育とその感化力の大切なことが伺はれる。

七、實習の状況

イ、養成教育

最初の一週間は頭の教育、心の準備をするため毎日一時間づつ、特別の講座を聞く、即ち木村課長より工場人としての覺悟、人絹の製造行程と我國の人絹業、勞務動員計劃等について、永山氏より團體生活の要諦、産業報國の精神、福武氏より青少年の意氣と決心等について夫々講義を聞く。

ロ、現場教育

三十一名の若人は入所の翌日から夫々現場に於て實習に取かゝる。彼等は四角四面な講義をきくよりも他部署の參觀よりも、現場實習に非常な興味と期待とをもつてゐるやうである。作業服に身をかためて「我こそは産業豆戦士なり」と言つた意氣を以て出勤する様子あたり誠に威勢のいい、情景である。男子は燃糸機の錆落しから始める。無心に引張つてゐるペーパーが切れるとそのはすみを喰つて手をした、か打つもの、頭を機械の中に突込んでやるもの、馬の様に心得て機械の上かる跨がつてやるものもある、かと思へば手よりも口の方がよく利ける連中もある。兎に角十五人のもの中々元氣に賑かにやる。然し之も次第に馴れて黙々と働くものが多くなつて來た。

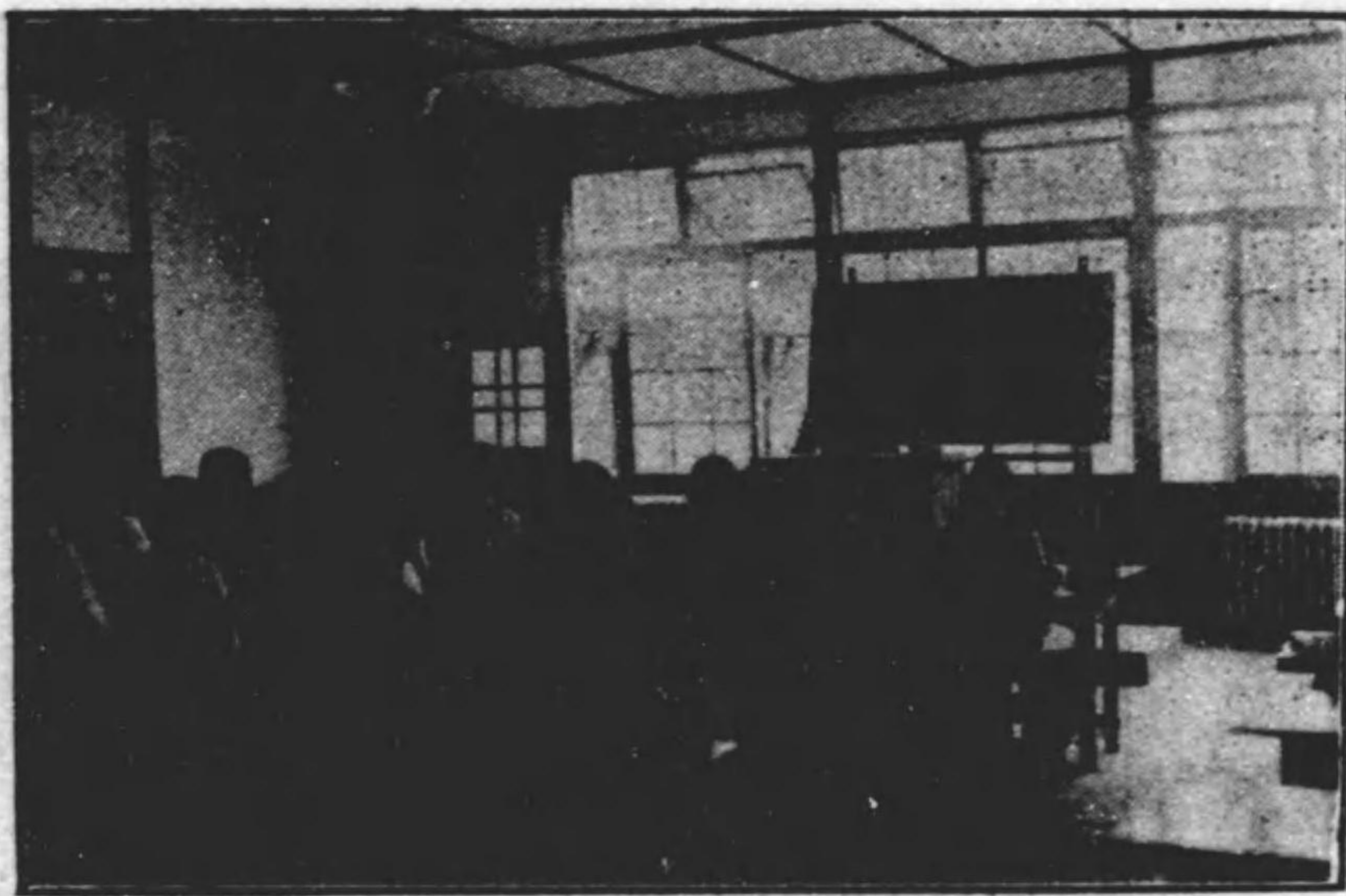
中洲校

〇

生

作業についての感想文に曰く

大きな室、驚くやうな機械、僕等はその驚くやうな機械の掃除をするのだ、實習は先生から聞いたよりも大分みやす



く聽を義講て於に室教成養

い。ペーパーで磨くのだが、ペーパーが切れて手を打つとジンとうづく。一日は面白かつたが二日目は仕事するのがたいきになつた。それでも高等を出て働く爲だと思ふと又一生懸命になつた。僕は仕事を終へて食堂に行くのが一番楽しい、そして今頃は會社で働くのが一番嬉しい。

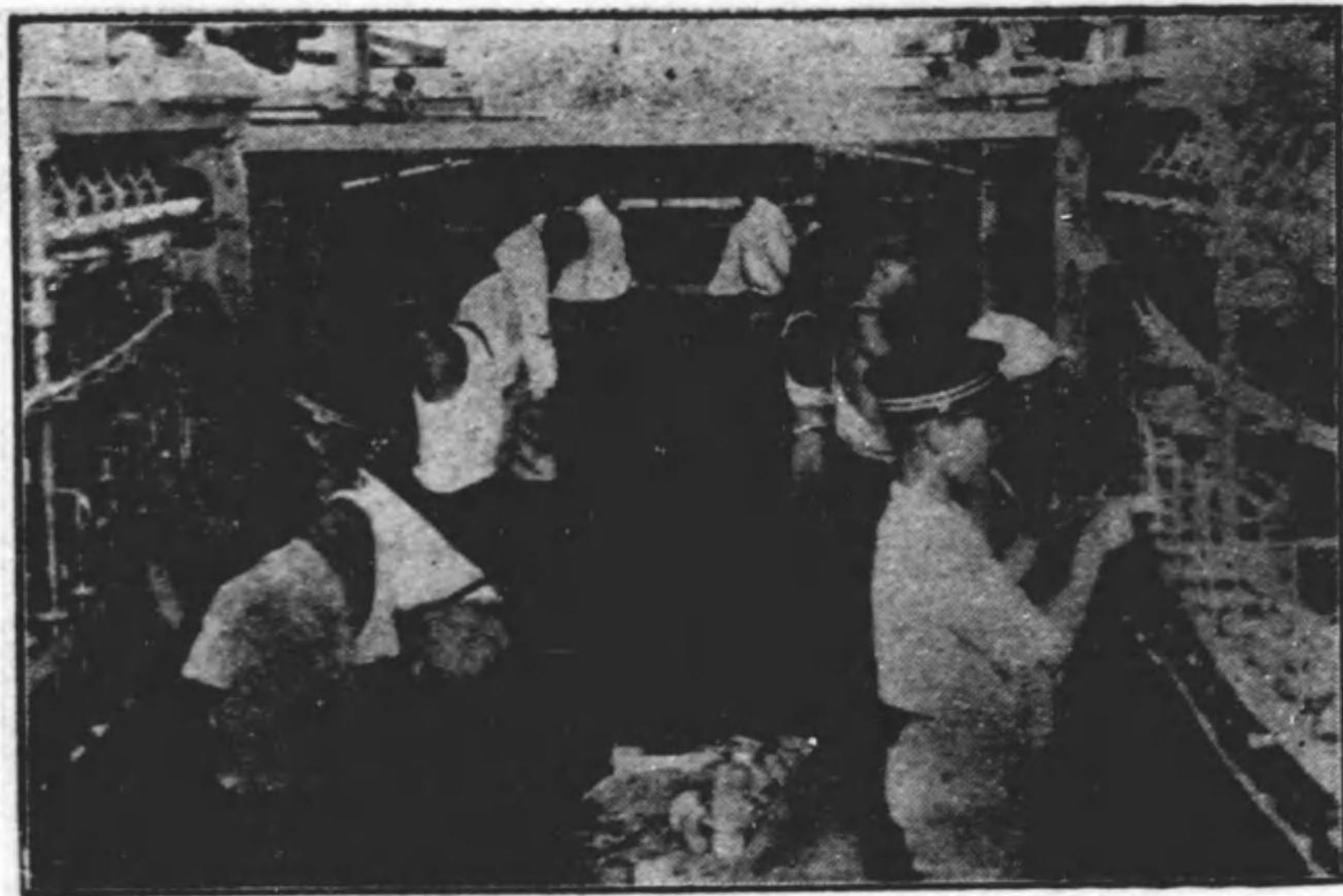
倉敷校

M

生

雄大な煙突が四本キューと立つて居り、下にはモーターの響が幾つとなく聞える。この中で働いてゐる人達の事を思へば、僕等の作業は何でもない。初めての仕事であるのでさうであらうかとも思つた。

僕等の仕事は機械の掃除で、ペーパーでそれを磨くのである。初めのうちは珍らしく又懸命にやつてゐたが、次第に疲れてイヤになつて來た。油と錆が服に着いて汚れる。愈々イヤになつた。然しもうすぐに僕は社會に出て働かなくてはならないのだ。そして仕事もこんなやさしい仕事とは段が違ふ。と思ひこの位のことではたばつてはと元氣を出して漸く終業時間迄やつた。二日目には大分といふ程でもないが、少し馴れて來て器用にやれ出した。が初めてのことで大分疲れたのかよく眠れた。又食堂に入つて食食をとるのが一番楽しい。朝の腹のへりにもつていつて御飯が入るので朝の疲れはすっかり忘れてしまふ



業作の生習實子男

この様な作業をすることはやがて社會に立つての良き経験であり、又よき修養であると思つた。

倉敷校

M

H

生

仕事は僕の思つてゐたよりは樂であつたが、シャツを磨くの手に手がだるかつたが、之も御國のために盡す御奉公の一つであると思つて働いた。汗の出るのには困つたが「こゝまでは弾丸は飛んで来ない」といはれた言葉を思ひ出して

心にはげみをかけて働いたが、さうも僕のした働振りにはあまりかばしくなかつた。又心棒を磨いたり、わくをしぼつたりすることもあまり出来るとは言へないのが僕は心残りがする。河合先生はほんとうに親切に又我等を良い方に導いて下さつたのに申しわけが無いと思つてゐる。

x x x

女子は撰別作業である。出来上つた認を一々手にとつて格別けするのである。認の返し方、毛羽の取り方、糸の継ぎ方、寄継ぎ、口糸の取付方、撰別標準の記憶等次々に進んで行く、そして次第にやらうと言ふ研究慾が出て来だす。そうすると目に見えて成績が上つて来る。

F生の日誌に

○ 八月十一日……(略)……認をもらつて仕初めましたが中々分りませんでした。私に來た糸にぢり／＼のが澤山ありましたから分らない。一格でい、のか、二格に入れるのかさうしようかと思つて守安さんにきくと、それは一格だと言つたがさうも心配になつたから、板谷先生に見ていたゞいたら、之はまだ打ちぢれにやかけたから一格でよろしいと言はれたので、私は聞いてよかつたと思ひました。かくする中に十二日からは基本的



男子朝會の模樣



女子實習生の作業

作業を終へて愈々本格的の作業に取りかゝる。段々練習する中に作業に對する興味を覺えて来る。そして競争心を起して互に其の出來高を誇るやうになつて來たのは十四、五日頃からであつた。

○ 八月十五日

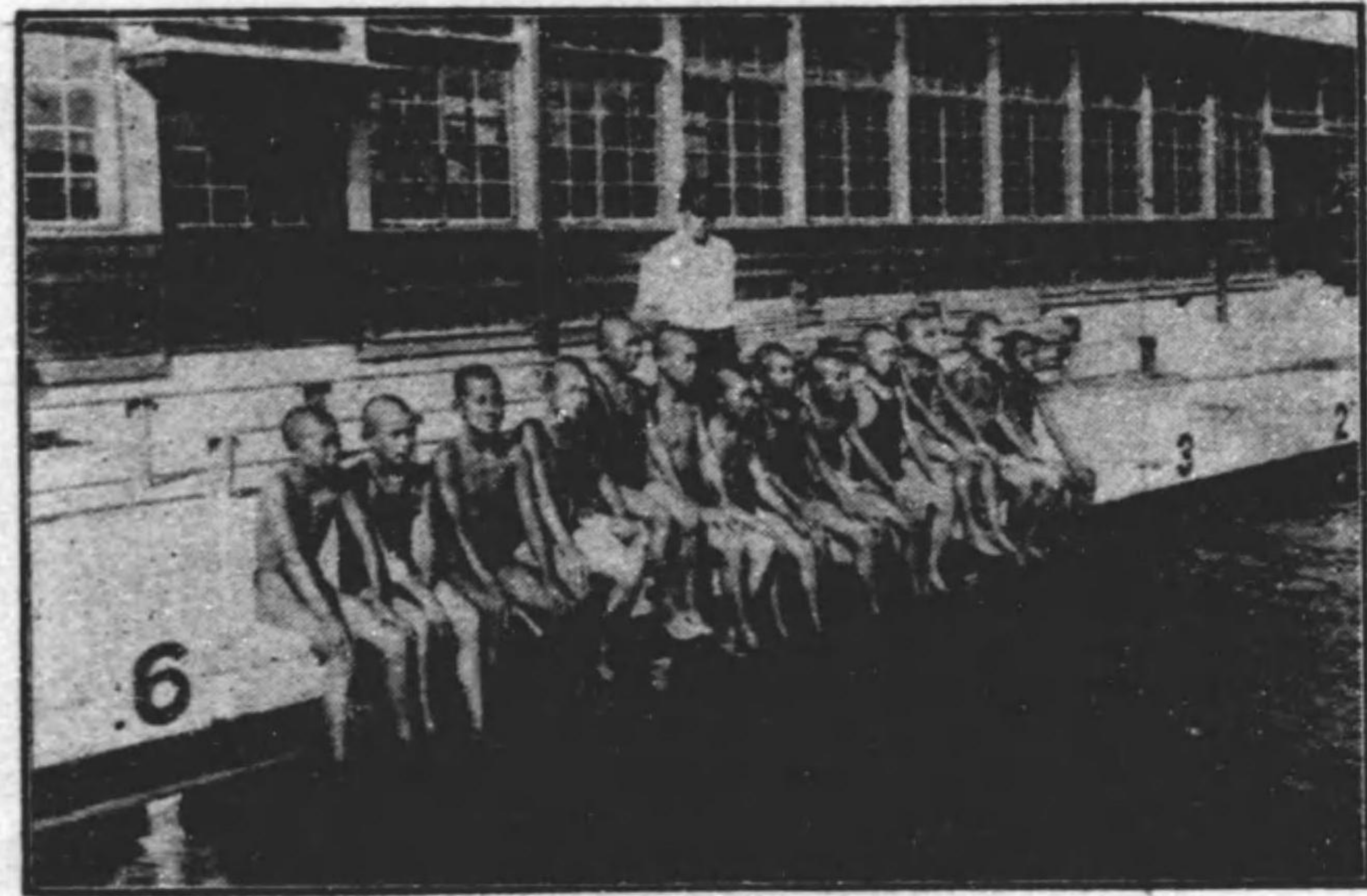
A A 生

……今日も一生懸命に仕事をするがとて出来ません。初めは中島さんや大橋さんは少し早かつたがしまひには負けてしまつた。作業中職業紹介所長さんが來られて晝食を一しよにいたゞいた。何か胸につかへてご飯が食べられなかつた。午後認を調べて見ると百七十二認できて私が二認負けたのでくやしかつた。かくて作業能率はぐんぐん上り、朝の八時から午後四時迄ぶつ通しの作業も課したが何れも元氣で立派な成績を見せた。

八、實習生から見た思出の様々

○ 會社へ入つた時何もかも驚くばかりでした。工場の大きな事、人員の多い事、又作業場の廣い事、本當に僕の心も大きくなるやうでした。あの晝食。そして水泳。僕等の作業を助けてくれたのはそれです。食卓を圍んで御飯を食べる

時のおいしい事實に口には言ひ表す事が出来ません……。 A 生
○ 工場内の設備を見て驚かないものはあるまいと思ふ。又大きな工場で働くのは暑いのであらうと思ふと涼しい位であつた。 T 生



ループま生習實子男

○ 初めの一週間は大變長くりましたが、終りの一週間はすぐたちました。大きい会社の園りには木が澤山植ゑてあります。青々とした木々を見るのはほんとうに氣持がよろしい。茶話會や音樂會や映畫會があつたり、寫眞をうつして

○ 毎日正門をくぐるのが嬉しかつた。それから遊びたくなる時は之が國家に對する御奉公だと思ふと嬉しくてノノてならなかつた。毎日々々仕事をするのは家でするよりも會社でする方が良かつた。 O 生
○ 母から「少しは骨があつたか」と聞かれた。僕は何の事かと考へて見ると「他人の飯には骨がある」と言ふことを聞いてゐたので、漸く合点が行き「骨なんかありやせんええけん何ぼうでも食べら〜」と答へた。……………それから毎日晝食の事をいはれる。即ち「何杯食ふた？」それに夫々答へた。母はその数の多いのにびつくりしてゐた。 M 生

○ 工場長さんを大きいお父さん、人事課長さんを大きいお母さん、福武先生を小さいお父さん、近藤先生を小さいお母さんとして色々めんごうを見てもらひ、時には我ま、なことなき言つて面白く愉快に過しました。卒業を前にひかへた私は事變下の日本の乙女として銃後の護りを固くしようと決心してゐます。 T A 生

もらつたりして、頭が次第にさがるやうです。

T 生

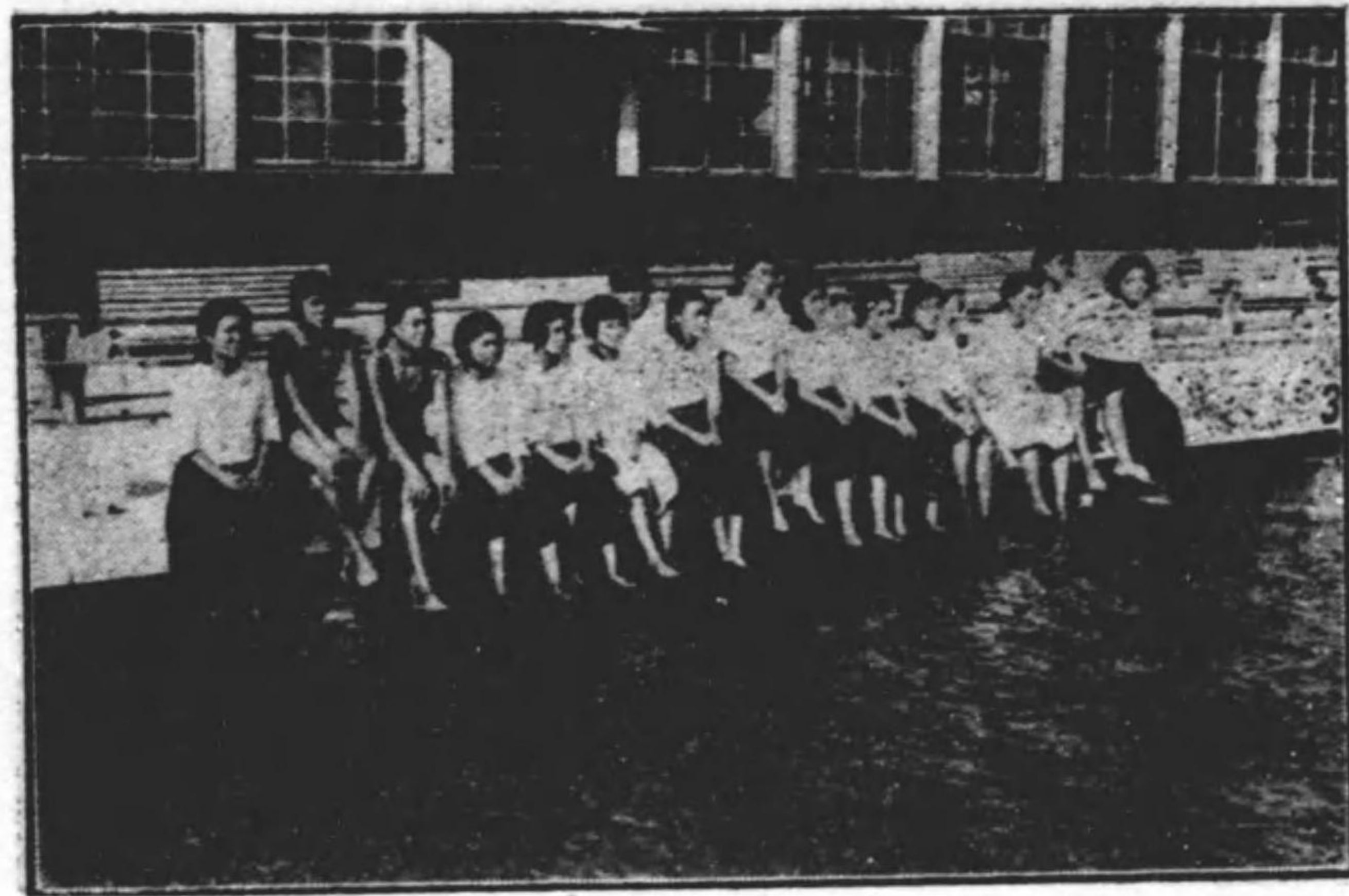
○ こちらに来て一番感じた事は寄宿舎の人々が大變親切なことでした他の会社の従業員の不作法な様子に引かへてこ

ちらの人々は大變よい人だと皆んなが言つてゐました。 A 生

○ 今、日本は大變な時に到つてゐます。私達女子は一致協力して一生懸命に働いて國につくさなければならぬ時、私達の工場習習はほんとに意義の深い事だと思ひます。この工場は輸出産業の工場です。

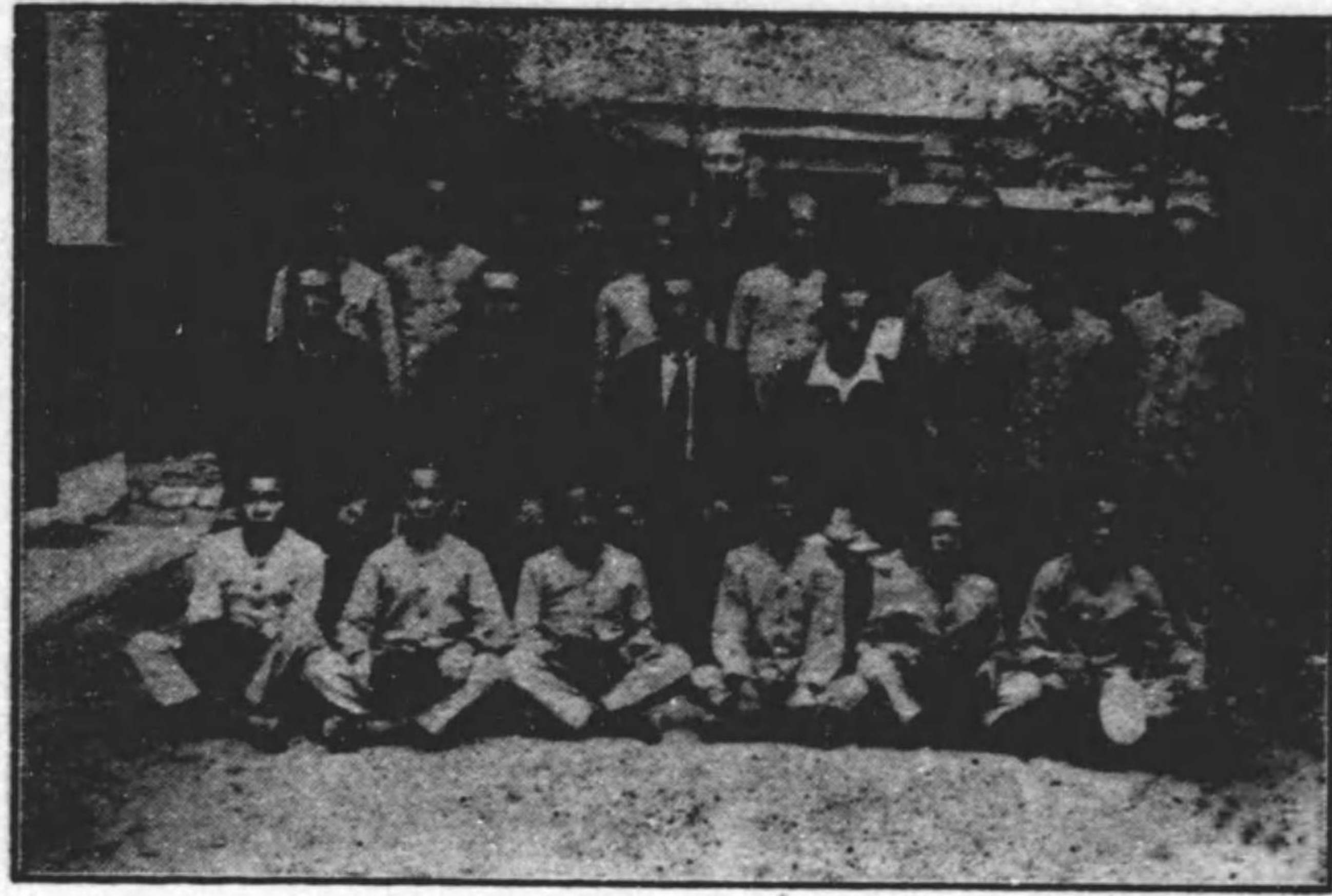
此の工場に来た私達は誠によろこんでゐる事です。今迄は工場に行く事は大變きつたものですが、今日の非常時に於てこんな事を言ふ人こそまちがつた人です。私達は學校を出ると會社に行けるものはさしノノいこうと思つてゐます。 A A 生

○ この工場に来る前にお母さんは眞面目に仕事をして新聞にでも出るやうな働きぶりをしてらさんな家門のほまれになるでせう。とさとされました。仕事がたいぎになるとこれくらいはがまんしよう、これも皆 天子様に忠を盡すと共に親にも孝行してゐるのだと思つて仕事をづけました。 K 生



ループま生習實子女

○ 八月八日午前 桑田倉敷職業紹介所員、川上高梁職業紹介所員來社、實習狀況視察。午後大谷倉敷高等小學校訓導來社同氏を中心に實習生と共に懇談會開催。



三木校長を迎へて

○ 八月十九日 終了式、來賓として倉敷職業紹介所より江口所長、吉岡氏、倉敷高等小學校より大谷、三木、小谷の三訓導來會さる。

○ 八月十日午後 吉備郡箭田青年學校女生徒二十名來社實習狀況參觀。

○ 八月十一日 縣職業課より香川、井上、新置の三氏及び桑田倉敷職業紹介所員等來社實習狀況を審に視察、實習生と共に晝食を終へ座談會を開催した。又横山中洲校訓導來社參觀さる。

○ 八月十四日 三木倉敷高等小學校校長來社參觀、實習生と共に晝食を終へ記念の撮影をした。

○ 八月十五日 倉敷職業紹介所長來社視察さる。西田倉敷高等小學校訓導來社實習狀況を視察。

○ 八月十七日 倉敷高等小學校三木、小谷兩訓導及中洲小學校横山訓導來社實習狀況を參觀さる。

○ 八月十八日 大谷倉敷高等小學校訓導來社、現場及び宿舎に於て實習生に注意があつた。

一〇、終了式



線の社の責任者つて(實習生一同)

午後一時より神の間に於て終了式を行つた。江口職業紹介所長、吉岡氏、學校担任者等外來來賓五名及び部署關係者多數を迎へて嚴肅な裡に開始された。工場長、人事課長共に御不在であつた事は非常に遺憾であつた。然し事務課長より証書、記念品授與等型の如く行はれ心からなる訓示、江口所長の祝辭、大谷訓導の挨拶、實習生總代の答辭があり最後に福武職員が指導者一同に代り「やらうと云ふ元氣と、實行の勇氣と、最後の責任を全ふせよ。そして仕事と人格の修養とを別に考へてはならぬ、仕事をするには人格を作ることだ。日誌の一頁に記して置き」と力強く臚の辭を呈した。

式を終へて茶話會に移り實習生の感想發表があつた之がとても奮つてゐた。曰く……

○ 課長さんがお若いのには驚いた。
○ 自轉車が多いのに驚いた。この澤山の人が産業報國の爲め汗と油を絞つて居られるかと思へば目頭が熱くなつた。

男子の中には

○ 作業服を汚すばかりで仕事をしなかつた。晝食の新記録は十三杯

であつた。等々一同抱腹させた。かくて盡きせぬ愛惜の情を抑へつ、會を閉ぢたのは午後三時過ぎであつた。

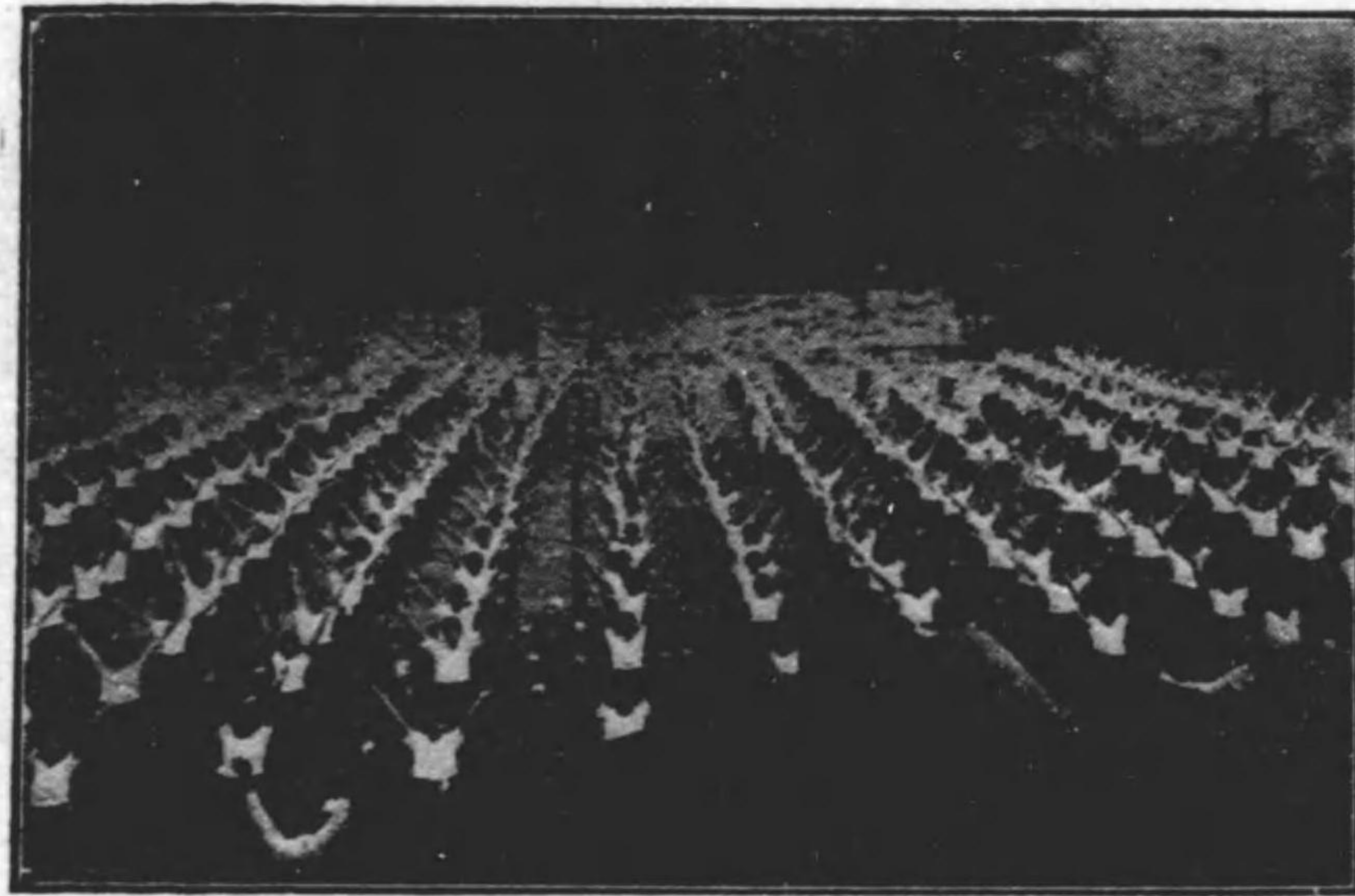
一一、實習生指導日誌

七月三十一日 午後五時頃倉敷校の女子十三名を先陣に中庄校の女子三名、上房郡巨瀬校の男子一名が相前後して夫々男女兩寄宿舎に入舎した。何れも元氣な顔に溢れるやうな希望と包み切れぬ喜びをた、えながら定めぬ室に収つた。中々賑やかな一夜であつた。

八月一日 午前九時より新溪園で入所式、倉敷職業紹介所長の訓示、來賓の祝辞があつて式を閉じた。此の日倉敷校より男子十三名、中洲校より二名の入所者があつた。之で計三十一名となつた。午後は記念の撮影をした。

八月二日 今日から愈々實習指導を受ける。先づ養成教室で人事課長より工場人としての覺悟、人絹製造工程等について聴く。若人達は科學の不思議な工程に耳を傾けてゐる。終つて男子は機械課長の作業上の注意を受け平松主任の指導にて燃糸機の手入れ、女子は製造課長の作業上の諸注意を受けつゝいて森田主任の案内で認場、撰別、荷造場等を見學して撰別の基礎的理論を聞く。

夜は女子寄宿舎に於て歓迎茶話會開催、工場長、人事課長も御臨席色々の有益なお話を聞き、勵まされるところ多かつた。



朝禮會で行ふ合同体操

八月三日 養成教室で永山課員より団体生活について力強い講話を聞き、男子は燃糸機の錆落し、女子は撰別の基礎的知識を教はり、認の返し方の實習をした。今日もプールで一日の疲れを癒す。次で男女對抗のバレー競技をした、更に女子は松寮有志と試合を試みた。實習生軍の勝、何れも嬉しそうに床に就いた。

八月四日 毎朝男子は六時ラヂオ体操の會に参加、女子は六時十分より寮生と共に朝禮會を行ふ。九時から養成室で福武課員の講話、少年の意氣と希望について、男子は昨日につゞき機械の手入れ、女子は撰別標準の記憶に懸命、作業は認の返し方の反復練習、夜七時から高梁川の堤防上で夕涼みの會を催す。

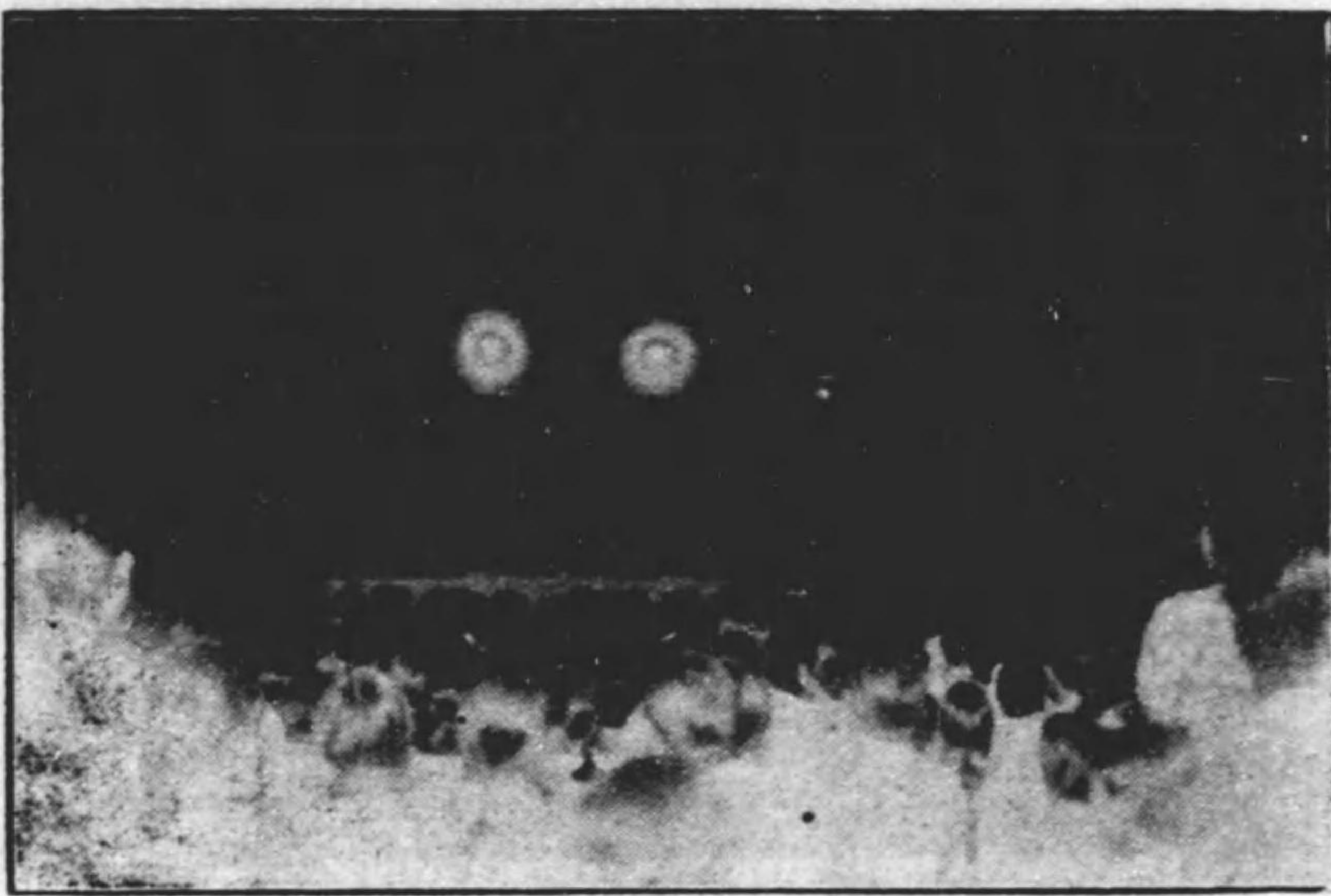
八月五日 職業指導、勞務動員計劃、軍需産業と輸出等について木村課長の講義をきく。一同現下の國狀を一層深く認識し産業報國への理解を深めた。次で部署に出勤、男子は燃糸機の錆落し、油や錆で大分服をよごした。女子ははじめて作業服をつけて作業することになつた。毛羽の取方、糸の繼ぎ方の實習、夜は娯樂の會で奇術其他の餘興に打ち興じた。

八月六日 日曜日で男子は休業。女子は早朝神社参拜、終つて柳井原方面にハイキング、木蔭で美しい景色を眺めた。高梁川の中洲で大きな貝を澤山取つた。幾つものバケツに一杯取つて十一時半頃歸つた。有意義な半日の清遊であつた。

八月七日 日記帳の点検、記念撮影。男子は相變らず錆落し、倦を生じた連中が大分出た様子、女子は燃糸の繼ぎ方練習、午後七時より大麻拜戴式に参列、嚴肅なる學式であつた。工場長の神前訓話、生徒の寮訓誓約等感銘の深いものがあつた。家庭に對し連絡書狀を差出す。

八月八日 男子は昨日に引つゞき機械の手入れ、女子は口糸の取付け、中々困難ならしい。午前倉敷紹介所の桑田氏、高梁紹介所の川上氏等視察來社、午後倉敷校の大谷先生を中心に課長、担任者、人事課員等と懇談、冷し西瓜もおいしく真心のこもつた一時であつた。

八月九日 機械の部分品の名稱を授く。仕事は昨日と同様、女子は撰別標準の記憶に努力させる。終つて今日もプール入り、彼等の一番の楽しみは食事と水泳らしい。プールにて記念寫眞を撮る。



涼しい芝生の上で余興を見る

八月十日 日記帳の点検、作業場にて實習状況の撮影、男子は昨日の通りの作業、女子は認の廻し方、裏返し方の實習、午後箭田青年學校の女生徒約二十名參觀、女子のため稻葉社醫の特別講話があつた。八月十一日 男子は例に依り機械の手入れ、廣い室の機械の手入れも大分捗つた様子。女子は撰別標準についての考査、成績の上下に非常な差がある。即ち得点三五点から一〇〇点。

岡山職業課より香川、井上、新置の三氏及び倉敷紹介所の桑田氏來社實習状況を視察、終つて松寮にて座談會生徒に種々有益な話があつた。中洲校の横山先生も實習状況參觀のため來社。

夜慰安映畫會を催した。トーカーの調子不良。
八月十二日 日記帳檢閲、女子は初めて本日から撰別作業にうつる。男子は燃糸機の錆落し、毎日同じ仕事に倦怠の色見ゆ、男子一名病氣のため欠勤した。昨夜につき映畫會、今日はトーカーの調子良好。一同よろこぶ。

八月十三日 今日日は日曜日、早朝八幡神社に參拜後夫々自宅に一時歸らず、女子は約東通り七時迄に全員歸舎した。様々の話に又手土産の交換にとても賑かであつた。

八月十四日 本日より午前八時より午後四時迄八時間勤務をさせることにした。少し疲勞を覺えたらしい。男子はシリ

ンダーの心棒磨き及び分銅の釣紐切り、女子は撰別作業、午前三木倉敷小學校校長來社、實習生と共に晝食をとり記念の撮影をした。課長は明日より當分不在になるからと特に實習生に最後を完うせよと訓示された。

八月十五日 男子はシリンダーの心棒磨き、室内の掃除整頓、女子は昨日と同様撰別作業、大變手並がよくなつた、互に出來高を競うてやり出した。倉敷小學校の西田先生が參觀に來られた。

八月十六日 實習期間も大分終りに近づいて來た。ボツ／＼哀惜の聲が洩れだした。男子は認棒に錘をつける又認棒の組立に取かゝる、終つて一同散髪をしてもらふ。女子は撰別作業に熱中、とても能率が上りだした。プールにて男女記念撮影、相變らず水泳やピンポンを喜ぶ。夜は唱歌の練習やかたとりなぎして樂んだ。

八月十七日 男子は昨日につき認棒の組立、女子は昨日の通り、倉敷校より三木、小谷の兩先生、中洲校より横山先生が實習生の狀況參觀のため來社。夜は音樂會番數が多いため明晩に繰越す、實習生の家庭に通信した。

八月十八日 作業は男女共昨日と同様、今明日の實習何れも精出して働く、晝食は實習生にとりて一番の楽しみらしい。就中男子は其の腕數を知らずといつた風。

倉敷高等小學校の大谷先生來社、實技は勿論精神的訓練方面の收穫の大きなものがあつたと喜んでゐられた。女子はシーツの洗濯に多忙、夜に二日目の音樂會、實習生は齊唱と獨唱(角原)に出た、工場長も御臨席になつた。

八月十九日、二十日 新溪園にて終了式がある筈のところ主催者側より急に變更申出であり午後一時から當社内にて行ふこと、なつた。式場は松寮の神の間、來賓に職業紹介所より江口、吉岡の兩氏、倉敷高等小學校より大谷、三木、小谷の三氏臨席の下に開始、本郷事務課長より証書並に記念品の授與、來賓の祝辭等があつて式を終り送別の茶話會をした。

實習生達は世話になつた先生に對し名残りの挨拶を述べ夕方夫々家路についた。

夏季實習生伴侶の記

女子部

今年初めての試みであります所の夏季實習生指導について女子部起居に關する方面の伴侶の任に當る事を命ぜられました。

七月三十一日……午後五時三十分澗刺其者の様な花の蕾の乙女達は受持教師に引率され意氣揚々として着舎致しました。愛兒の歸つてきた様な心持を感じ乍ら初對面受持の挨拶をして居りますと、松寮生諸姉は新に出來た妹達をいたはり迎へて周到な世話振涙ぐましい風情でした。青疊に白カーテン美はしい床の花、新入一同大に好感に浸つたらしく見えます。

一落付して第一時の食事に案内致しました。遠慮らしい人も見受けられますから聞いて見ますと「私は頂けませんでした」「私もです」「私は人の分をさらつて上げました」「では幾つ」「はい三人分さらつて上げました」一同大笑でした。入浴に連れて参りました。水泳に皮膚をこがして何れも元氣そうであります。さあ首をすつて上げませう未だの人はありませんか、そろ／＼集つて來て首をさしのべます何といふ可愛さでせう。其夜は一度に授かつた十六人の娘達の名前を覚える事第一肝要と思ひまして自己紹介を初めました、打はしやぎつ、大方に覚ええました。私の紹介も終り暫

く團欒致しました。

第一夜は中々眠れなかつたらしくあります。靜に御休みなさいと一順室を巡つて床に入れば三分も経たぬに又はしやぎます。三度目に人の迷惑を考へませうと申しましたらやつと靜かになりました。

八月一日……朝食後社内の稻荷様からプールを一週し縁の木蔭のベンチに腰打ち下ろして新鮮な空氣を満喫しながら今後二十日間を如何に有意義に暮しませうと御話をかはしました。

八時から新溪園に赴き入所式に参列致しました。縣職業課と職業紹介所と學校と、工場側と混然融合して現代に最も適切な舉でありますから何れも感激に満ちた次第であります。力強い訓話數々でありましたが中にも笠岡職業紹介所長の一致協力、國家總動員の御話に於て老も若きも、富者も貧者も皆夫々に職業を勵むべきだの一言に幼心の勇を鼓して感深く聞いた様子でありました。

午後プールに於て水泳の喜は一入でありました。此の日一同は入社記念に第一回の撮影をして頂きました。

八月二日……今日から愈々實習指導を受ける事になります。養成教育に於て木村課長から規律の訓練を受け、人絹製造に關して学びました。作業實習は撰別を習得する事になりました。森田担任から基礎的理論を学びました、一同元氣にて顔色喜々として居りました。午後七時から茶話を催されました。工場長、課長も御臨席になり永山先生、福武先生の皆様から愛撫の御心持が溢れてゐましたので、ハチキレソウな喜びを面に湛へ乍ら有益な御話に耳を傾けて居りました。

八月三日……今日から朝の學習を廣間でと福武先生の御進めを頂きました。朝風涼しく通ひ來て爽かな氣持です。學

習心裡を善導出来ずならばと僅かの訓話を試みる事に致しました。熱心に静肅に二時間を利用致しまして能率が揚がった様であります。素直によく命に服しますので気持ちよく暮らす事が出来ます。學校での訓練に敬服する事も屢々でありました。

養成教育に於て永山先生から團體生活、私達の決心、産業報國等に付き有益な御話を承はつた次第です。

部署では撰別の基礎智識を授けられ、認の返し方を實習しました。何れも興味を以つて居る様でありました。

今日もプールを大なる慰安として喜びました。午後七時から寮の姉さん達とバレーの仕合を致しましたが實習生の優勝となりました。一番小さい中島さんがとても甘いのに驚きました。夜は楽しいグループを作つておとぎ斬なぎして平安な眠につきました。

八月四日……養成教育に於て福武先生から少年の意氣に就て有益な御話に拳を握つて耳を傾けました。

今日から寮生と共に五時起床を希望するものですから、それを實行しラヂオ体操も一緒にする事になりました。

部署では撰別標準を記憶する事に専念させました。是は中々苦しいとの聲が洩れてゐました。作業は昨日の認の返し方を反覆練習するものであります。

今日は中々激しい暑さでしたが作業からかへつて何かスーツとした飲物が欣しいと秋山さんが云ひ出しましたら皆口を合せ出しました。では福武の御父様に御手紙を以て行きなさい御願して上げます、と申しましたら大喜びで早速に立上りました。氷、お砂糖、レモンエッセンス、シユセキ酸右御取寄下さい實習生及母よりと認めて御願しましたら早速整へて下さいました。おいしいミカン水が作れまして皆々うれしさうでありました。

午後七時から納涼の夕で高梁川の堤へ敷物を携へて散歩に参りました、清涼の趣言はん方なく皆々大喜びでありました。

八月五日……養成教育に於て木村課長から次の項目を習學致しました。

一、職業指導

二、勞務動員計畫

三、軍需産業と輸出産業

國家現狀を深刻に認識し産業報國への理解を深めた次第であります。

部署では愈々作業服甲斐々々しく毛羽の取方、糸の縫ぎ方を實習し、まげじ心に何れも精勵し疲勞の色も見えません。寄宿舎での規律次第に馴れて参りましたが、室の整頓清潔の良習慣がつかかねて居ります。暇さへあれば寝ころんで雜誌を読む習慣になつて居る様です、之を改める事に努力を要しました。

午後七時から娯樂の夕でありました。萬歳、自轉車曲乗等一同大に興がつて喜びました。

八月六日……午前七時三十分神社参拜の後柳井原へ遠足致しました。清楚な山に圍まれた青色の池の面今年の水は鮮しと雖も澄み切つて木々の縁を寫した風景恍惚とするばかりでした。美はしき大自然と果てなき大空を眺めて宇宙の神秘に思を馳せ暫し爽快絶賞を叫びました。高梁川の中洲には限りしらぬ貝の獲物感興盡くる所を知りませんでした。半日の清遊尊い体験でした。十一時三十分歸舎致しました。

八月七日……今日から養成教育打切であります。今朝學習中の撮影を致しました。

部署では総糸の取付方を學び尙既習作業の練習でありましたが、寄繼ぎには一寸困難してゐる様でありました。熱心に作業に服して居る有様はいじらしく可愛いものでした。

午後七時から新設の神殿に伊勢皇大神宮の御靈の奉戴式を舉行せられ實習生も参列致しました。壯嚴な式典に自づと敬虔の念を生じました。今日よりぞ大御神我舎に鎮座しますかと力強さと辱けなさと崇嚴さに打たれました。

八月八日……部署では口糸の取付方を學びましたが、是には相當困つてゐる様子でした。然し熱心な態度は感心でし

た。學校の受持大谷先生が生徒の狀況觀察の爲御來社ありました。實習生は課長さんと御一緒に晝食を頂いて小憩してゐる所でありました。課長さんから西瓜を御馳走になり乍ら懇談會を致しました、眞心と親しみの溢れたうるはしいまゝとありました。

八月九日……神殿に一同を引連れ禮拜し神に樂を奏して無事の感謝と祈禱を捧げました。只一名荻野君子さんの眼病については一方ならぬ痛心を覚えます。

福武先生御引率の許に神前に詣で禮拜の後父母に思を馳せ懇篤なる御訓話がありました、皆々非常に感に打たれ流涕禁じ難くなりました。度を重ねてよい御話を承はる事を非常に喜んでゐました。先生が精神的方面への御指導は私も共々に勳陶を受けました次第にて大に身の修養になりました事を感謝致します。

部署では撰別標準暗記に努めさせました、是が大切な基礎である丈に担任初め助手の方々も大に力を注がれてゐます、熱心懇篤なる御指導に頭が下る思ひです。

午後は又プールに楽しみを盡くし夕食後は寮の姉さん達に産業体操や日ノ丸行進曲を教はり非常に楽しく見えました。

八月十日……七時半から九時迄の學習時間では日記が二様にあるため時間が足りないといふので三十分丈延長して頂きました。今朝又福武先生に引率され神殿に禮拜孝行の御訓話を賜り一同の感銘極めて深いものがありました。部署では認の廻し方、裏返し方を習得し練習に精出しました。一日々々と手振もよくなつて参りました、此の狀況を一寸カメラに入れて下さいました。後日のよい記念であります。こうして彼乙女達は行届いた心づくしを受けて居ります本日は縣廳から職業課員、倉敷職業紹介所長の參觀がありました。晝食を共に頂き後談話會を催し有益な御話を承はりました。斯様に協力の御盡力に對し幼心にも感謝の心が躍つてゐる様でありました。

秋山さんの談話に「私達は本當に少しの仕事しかして上げて居りませんのにこんなに大事にして頂いては御氣の毒なやうです」と申してゐました。

午後七時から映畫の夕を致しましたがトーキーがもの言はぬのでさつぱりでした。

八月十一日……撰別作業の一通を習得し終りましたので今日は撰別標準についての考査がありました。相當優秀を生じまして得点三五乃至一〇〇でありました。

午後七時から昨夕のうめ合せに立派なトーキーで映畫の夕を致しました、今夕は大變面白くありました。

八月十二日……今日から撰別作業の練習を打きり本物に就て實際作業を行ふ事になりました。愈々職業戦線の勇士であるとの自任の下に懸命の努力を拂ひました。暑さは益々盛りです。小さい手で汗と油を拭ひつゝ、又してもキシム手を洗ひつゝ、可憐な少女の働き振感なきを得ませんでした。

午後福武先生は腕をみが、れまして愛兒達の顔を剃つておやりになりました、又髪も切つておやりになりました。私は其の助手を致しました。青木さん丈は剃つて入らないと云ひますなぞかと云へば「まゆを落されます」「落ちて直ぐつけてやる」と仰有いましたら「それなら」と顔をさしのべます。剃り終へて顔を撫で乍ら有る／＼と大安心皆々大笑でした。

八月十三日……先日福武先生の孝行に就ての御訓話身にしみて父戀し母戀しの情たかまりて遂に日曜一日の歸宅をせがんで参りました。八幡宮遙拜所に參拜の後午後七時迄の歸宅をさし許しました。一分も後れてはならぬ、徽章を忘れぬ様と御注意になりました。晩刻穴戸たつ子さんのお父さんから電話あり徽章を失ひまして懸命に探してゐますから少

し遅れるかと思ひます。ハイヤーでやりますから何卒御許しをとの事でした。定刻迄には皆々喜顔を携へて歸舎致しました。「先生お淋しかつたでせうと云ひませうネー」と岸田さんがみんなに相談を持ちかけてゐたかと思ふと、口を揃へて「先生お淋しかつたでせう」とぞろ／＼集つて來ました。豆やらお菓子やら果物なきを並べて互に交換、宅のお話に花をさかせました。

八月十四日……今日の實習は午前八時から午後四時迄となりました。手振も非常によくまりました、まけじ魂でよほご競争してゐる様です。敏捷な者は一時間平均五〇認に及びました。努力作業の眞最中へ倉敷高等の校長先生が參觀に相成りこの精勵振に大變御満足になりました。課長さん校長先生と御書を御一緒に頂きまして實習生をめぐつての御話に花が咲きました。何時も／＼み心一ぱいの御慈みを垂れて下さいました課長さんは十七日以降二十一日迄御留守と承はりがつかり致しました。大切な終りを近ふして残念至極であります但致方もありません。

晩刻から音樂會出演の唱歌を練習致しました。福武先生が御指導下さいまして強弱も大變上手になりました。各方面へ御堪能ですからウカ／＼も出來ず油断もありません、しかし指導して頂けるのですから結局よろしいでせう。故郷と太田道灌との練習を致しました。今日は白神さんが少し疲勞しました。

八月十五日……今日は坂本さんが又少し疲勞しました。部署での實習は九時から三時迄でありました。今日は倉敷職業紹介所々長さんが參觀に相成り工場長とも御一緒に晝食を頂き、種々御心づくしの御話を伺ひました。白神さんもお晝からよくなりました。歸舎後は書方練習を熱心に致しました。筆墨紙類凡て福武先生が整へて下さいました。夕食後病友坂本さんをかこんで皆神言を唱へ至快祈念を致しました。中島さんは御禁厭を施して上げました。

八月十六日……九時から三時迄撰別實務に熱中致しました。實習期間もそろ／＼終に近くなりましたので愛惜の聲が

洩れ出しました。なつかしいプールの傍で記念の撮影をして貰ひました。坂本さんもお晝から至快しました。午後の自由時間に手藝の忠犬を作りました。太い足のあまり恰好のよろしくないのが澤山出來ました。さうも頭が六かしくてものならず途中で猿に變更したのは未だよろしいが、猿にも犬にもならない頭無しも出來ました。しかし會社と縁つなぎに後日又習ひに來るそうであります。

明日以後は大變忙しくなりますので悠々とは出來かねませう。夕方福武先生御立合下さつて唱歌の練習を致しました。角原さん獨唱に撰ばれ皆が練習の故郷を獨唱にとられる事になりました。みんなは幼き頃の思出を擇びました。優しい美しい歌詞と曲早速私のノートに納め火急の練習を致しました。夜は歌加留多をねだりますので大にやりました。青木さんは中々上手でありました。

八月十七日……部署での實習は昨日の通りでありました。手並のよくなつた事驚くばかりです。倉敷校の三木先生御來社にて細々と參觀せられました。

今日はとんと音樂會気分になつてゐました。室の清潔整頓が少し乱れ出しました、検査係を一室に一名置いて室を出た後の手落を氣をつける事に致しました。午後七時愈々音樂會となりました。ライトマイクホン青天舞台芝生の數物、理想的氣持ちのよい會場です、他には得難いと思ひます。短日の間によくもあれ丈と文字通感嘆しました。

實習生も想像以上の盛況に啞然としてゐました。プログラム三分の二に至らずして時間の都合上やめました。残部は明晩に割愛する事となり實習生も明晩の部に入りました。

八月十八日……學習時間大谷担任教師御參觀になり當社上司の眞の御心盡くしに對し感謝の言葉を洩らしてゐらつしやいました。精神的訓練の上に於ても或る成功が認められますと又、部署での進歩振を御満足になつてゐられました。

生徒の作った犬を一つ差上げました。今日は續きの音楽會でした。角原さんの獨唱「故郷」は大に好評を拍しました。齊唱の「幼き頃の思出」は聊か心配して居りましたら、青木さんの曰く「先生心配おしなさんな二つ共よく合つてゐました。私は一寸休んできいてゐたのです。」一同大笑。後に山口先生の仰有るのに「ほんとに青木さんは一つも歌はずに笑つてにこ／＼ばかりしてゐました」と呵々

八月十九日……愈々最後の日となりました。今日は眼を痛めた荻野さんも福武先生の御招きに喜んで出て参りました。これで打揃ひ終を全ふする事が出来す喜ばしい事です。今日はシーツの洗濯糊付、縫付、後を濁さぬ心から右實行を約しました。聊か重荷と考へ部署行延伸を願ひ出しました。三十分丈御許がありました。まだたりませぬと申し上度い所を上官の命令とばかり服しましたが實際時間がたりませぬ。感想文の提出もありまして、何でもよく御理解の福武先生です。すけり洗濯と縫針の事は一寸御想像以外の所があります。

最も大切な終りとなりました。有木さんと藤原さんが口論して泣き出しました、一寸訓諭してゐましたら福武先生から部署行を促されました。夫れ／＼早くしなければと大走り。

今日は午前中にて作業を打切りました。午後は嚴肅なる退所式を行はれました。職業紹介所長、學校担任教師臨席されましたが、當工場長、課長の御兩方御留守にて最も心残りでありました。兎も角無事に終了致しました事は大きな喜びで御座います。福武先生から眞情を籠められての御訓話があり「やらうと云ふ元氣と、實行の勇氣と最後の責任を全ふせねばならない仕事と、そして人格の修養とを二つ乍ら全ふせねばならない日誌の第一頁へ記して置け」と力強く臚の辭を御與へになりました。式を終つて茶話會に移り感想發表が奮つて居りました。「課長さんがお若いのに驚いた。自轉車が多いのに驚き、この澤山の人が産業報國の爲汗と油を絞つて居られるかと目頭が熱くなつた。銃後の乙女の覺悟云々」又男子の中には「作業服を汚すばかりで仕事をしなかつた。お食事は新記録で十二杯であつた」等々一同を抱腹さ

せました。盡きせぬ愛惜の情を抑へつゝ、會を閉ぢました。

茲に實習生は終了証書と過分の御土産を頂き熱い情に送られ乍ら感激に満ちて五時半出門、なつかしき父母の膝下に歸り行きました。私は最初命を拜しまするや滿身の熱血を躍らせ乍ら重責を果しませうと覺悟致しまして種々のプランを胸に描き居りましたが、其半も實現し得ずして終局に到つた事はお恥しさに堪へません。

然し明朗な實習生を中心として共々に向上の一路を追ひつゝ、精進の日々を過ごし彼等は所期の目的を達して健顔父母見ゆる事が出来ました事此の上の喜はありません。

全く上司御熱誠の賜と感謝の至に堪へません。三十一名の實習生は當工場で習得致しました處の體驗が何れかの方面へ尊い貢獻を齎す事でありませうと祝福に堪へません。私の不行届の程は何卒御許し下さいませ。

399
330

昭和十四年十月十五日印刷
昭和十四年十月二十日發行

(非賣品)

岡山市國富七三番地
編輯人 江口定一

岡山縣倉敷市戎町七三四ノ一
印刷人 杉原善三郎

岡山縣倉敷市前神町三〇二番地
發行所 倉敷職業紹介所

電話倉敷局四四七番

— 刷印原杉・市敷倉 —

99
30